目次

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 6 回「図書館の思い出」細胞分子機能病理学 / 原田義規

【2】 --- 秋の読書週間企画 ご応募お待ちしております

【3】 --- 【お願い】 令和 6 年度学生用図書のおすすめについて

【4】 --- [10/29(火)]書架工事のため、1 階閲覧室入室できません

【5】 --- 泉麻人氏特別講演会「京のバス旅となつかしい風景」レポ
＜広小路キャンパス活性化プロジェクト＞

【6】 --- 令和 6 年度第 2 回企画展示＜歴代館長の本～広小路 since1992＞展

【7】 --- 『今日の診療 Web』の 1 書籍改訂

[Book Review] ……編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 6 回「図書館の思い出」

細胞分子機能病理学 / 原田義規

京都府立医科大学附属図書館は、私の学生時代から欠かせない存在でした。特に大学院生時代には、図書館と通りを隔てたマンションに住んでいたこともあり、研究分野の現状把握や研究の方向性を決めるために、頻りに図書館に通っていました。私が大学院生だった頃は、まだデジタル化が進んでおらず、文献収集は主に紙の本から行われていました。図書館の一階や地下の書棚を巡り、文献を探してコピーを取る作業を何度も繰り返していたのを覚えています。京都府立医科大学附属図書館は文献資料が充実しており、必要な情報を見つけるために、時には何時間も館内を歩き回りました。このような過程が、今振り返ってみると、自分の知識や見識の土台を築く大切な時間だったと感じています。

また、図書館は単に情報を得る場であるだけでなく、知的な刺激を受ける場所でもありました。専攻分野以外にも、時折息抜きとして別の分野の本に手を伸ばすことができました。私の曾祖父は京都府立医科大学を卒業した医師だったこともあり、子供の頃から古い医学書を見る機会がありましたが、図書館ではそれよりももっと古い医学書に出会うことができました。特に、医師となり医学の最新の知識を学んだ後で古い医学書を見ると、先人たちが医学に懸けた熱い思いを感じることができました。

現在、私は医学部の教員として学生たちに接する中で、図書館の重要性を再認識してほしいと強く感じています。情報がデジタル化され、インターネットで簡単にアクセスできる時代ではありますが、図書館の静かな空間でじっくりと文献を読み込み、自分のペースで理解を深める経験は、何にも代えがたいものです。また、図書館での偶然の発見や、他の学生との交流が、思わぬ学びや成長につながることもあります。図書館は、医師としての知識を深める場であるだけでなく、人間としての視野を広げる貴重な場所でもあります。

図書館での学びを通じて、学生たちが未来の医療を担う優れた医師・医学者として成長することを願っています。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 秋の読書週間企画 ご応募お待ちしております

.....

「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として、2024 秋の読書週間に、4 つのイベントを開催します。奮ってご参加ください。

=====

その1 11/7(木)「[シェイクスピアと私](#)」北村薫氏 & 松岡和子氏の特別対談 <要事前申込>

その2「[しおりコンテスト](#)」 <作品募集 11/9 まで>

その3「[としょかん川柳](#)」 <作品募集 11/9 まで>

その4 [本の貸出促進](#) (電動モビリティクーポン配付) <10/28~11/9>

読書週間は 10/27(日)~11/9(土)。この機会に、ぜひ図書館に足をお運びください。

【3】 --- 【お願い】 令和6年度学生用図書のおすすめについて

.....

図書館が購入する学生用図書選定の参考とするため、各教室・部門（看護学科は各領域）あてに、令和6年度推薦をお願いしています。詳細は「[令和6年度学生用図書の推薦について](#)」をご覧ください。

◇資料

- ・ [学生用図書の教室推薦について](#)（依頼）
- ・ [推薦図書記入シート](#)（回答様式）

パスワードが必要です。ご不明な方は、図書館(libseiri@koto)へお問合せください。

◇回答方法

- 1.推薦図書記入シートをダウンロードしてご記入ください。
- 2.各教室・部門（各領域）で取りまとめ、メール(libseiri@koto.kpu-m.ac.jp)で提出をお願いします。
- 3.推薦図書がない場合でも、その旨メールで連絡をお願いします。
- 4.メール送付の際は件名を【**教室推薦図書**】にしてください。

◇提出期限：2024/11/7（木）

◇回答・連絡先 図書担当：libseiri@koto.kpu-m.ac.jp

【4】 --- [10/29(火)]書架工事のため、1階閲覧室入室できません

.....

附属図書館リニューアル工事にご協力いただき、ありがとうございます。地下電動書架に1階の雑誌を移動し、現在、1階閲覧室の書架を撤去しています。今後、1階閲覧室北エリアに新たな書架を設置するため、入室できない時間帯が発生します。ご不便をおかけしますが、その間、2階または地下閲覧室をご利用ください。また期間中は騒音や振動などが発生しご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

<今後の予定>

10/29（火）9:00～13:00 書架増設工事のため、1階閲覧室利用不可

10/31（木）雑誌移動作業

11/1（金）からは、広くなった1階閲覧室で自習していただけます。

【5】 --- 泉麻人氏特別講演会「京のバス旅となつかしい風景」レポ

<広小路キャンパス活性化プロジェクト>

2024/10/21(月)に実施した泉麻人氏特別講演会「京のバス旅となつかしい風景」は和やかに幕を下ろしました。残念ながら参加できなかった方へ、少しでもレポをお届けします。

=====

東京から新幹線で入洛される途中、泉先生が目しているのは、富士山ではなく、野立ての看板。キンチョーやピップエレキバンに交じり、727 や、院長の顔写真入りの歯科医院の宣伝など。そこに隠された背景を探るのも趣がある。

東京は山が遠いが、京都はバスで 30 分も行けば、山間部に入れる。細い道いっぱいに通るバスもある。山間部では、メロディバスが走っており、住民はバス停で待つのではなく、メロディが聴こえたら家から出てきてバスに乗る地域もある。

バス停の名前も趣深い。「間人診療所前」など、人間診療所と読み間違えそうだ。

=====

泉先生の視点が一つ一つ面白く、旅がしたくなりました。

広小路プロジェクト特別講演会は、今後も続きます。次回は、直木賞作家・北村薫氏と翻訳家・松岡和子氏の特別対談『[シェイクスピアと私](#)』についてお話いただきます。たぐいま[参加者募集中](#)です。

【6】 --- 令和 6 年度第 2 回企画展示<歴代館長の本 ~広小路 since1992>展

■期間：2024/10/17(木)~11/5(火)

■場所：附属図書館 1 階 特設展示コーナー

■展示資料一覧：[こちら](#)

■チラシ：[こちら](#)

広小路キャンパスに附属図書館が移転してきたのが1992年(平成4年)。今回の展示では、図書館所蔵資料の中から 広小路移転以来の歴代館長の著作や監修・監訳など、執筆に携わった本を集めて展示しています。先生方の専門も様々で所蔵する全ての本を展示することはできませんでしたが、まだ資料はありますので 是非 OPAC で検索・書架でも見つけてみ

てください。展示資料はすべて貸出可能です、お手にとってご覧になってください。

【7】 --- 『今日の診療 Web』 の 1 書籍改訂

.....

医学書院発行のベストセラー書籍 16 冊を同時に検索できる「[今日の診療 Web](#)」
2024/10/15(火)収録コンテンツの更新が行われました。

・ジェネラリストのための内科診断リファレンス 第2版
同時アクセス5名まで。利用後はログアウトをお願いします。

[Book Review]

.....

北村薫著『中野のお父さん』（文春文庫 2015年）

主人公は老舗文芸誌の編集者田川美希（元バスケ部）。著者が消えた賞の大賞作、作家の往復書簡、俳句の解釈、文芸誌愛読者の過去の体験談など、仕事で遭遇する〈謎〉を解くのは国語教師のお父さん...という文芸ミステリ。父娘のやり取りにほのぼのしつつ、こたつの中で「安楽椅子探偵」ぶりを発揮するお父さん≡北村薫氏の相変わらずの博覧強記に素直に感心する。連作短編集なので読みやすく、氏の入門書にもピッタリ。

デビュー作「空飛ぶ馬」からのリアルタイム読者なので11/7(木)に松岡和子氏との対談を伺うのをとても楽しみにしていますが、今からもう緊張状態です...(Y.S.)

(京都市右京中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)(2階閲覧室 914.6||I)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4163903259>

.....

図書館メール News529号 2024.10.24 発行（隔週木曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>